どこまでも正攻法
西荻塾
大学受験

高校１年　授業要項

1．開講講座の紹介
2．指導の特徴――指導４本柱
3．塾の施設について
4．受講料のシステム

基礎は一日にして成らず。

西荻塾の高校１年生の授業は、徹底した基礎力の習得を目標とします。西荻塾の言う「基礎力」とは、自分の頭で考える力をいいます。習得すべき事項をインプットした後は、自らの頭で考え、再び考え、そして、一定のアウトプット（正確な記述）を目指す。ときに一緒に考え、唸って、腑に落ちて楽しくなる。

楽しまなければつらいのも学問の道。西荻塾で楽しんでみませんか。

開講講座の紹介

■ クラス授業

指導４本柱

・専門性に裏打ちされた授業
・添削結果を活用した授業
・問答授業の活用
・自習指導との密な連携

英語 120 分授業	大学入試を到達点と考えると、高校英語の課題は、第一に文法知識に基づいた正確に英文解釈をできるようにすること、第二に中学で学んだ「英語の骨格」に知識という「肉付け」をすることです。高１ではそのための基本ツールを身につけ、知識を増やすための方法を伝授します。	
	標準クラス	年間を通して、文法的な理解を深めます。文法単元別の学習からスタートし、最終的には基本例文を英作文ができるレベルを目指します。年度後半から 200 語程度の読解を取り入れ、文法的な理解を内容の読み取りに活かすトレーニングに取り組みます。この一年で、大学入試で求められる膨大な知識を身につけるための土台を作ります。
	アドバンスクラス	高１中に、英検２級取得レベルの英語力を養成します。 まず、文法的理解を深め、基本例文の英作文ができる力をつけます。年度後半は単語・熟語などの習得と、読解問題の演習に重点的に取り組み、学年終盤で基本レベルの入試問題を用いて学年の仕上げを行います。
	■ 高１クラスの英語の授業について 高１クラスにおいて、一定以上の英語力（英検４技能スコア 1950 以上；CEFR　B1 ランク以上）を取得されている場合は、インテンシブクラスをご案内することがあります（高２と合同クラス）。インテンシブクラスでは、英検準１級取得を中間目標とし、東大、外国語大、早稲田国際教養などの英語でアドバンテージを目指す生徒のためのクラスです（150 分授業ですが、授業料の割引あり）。	

● レベル別クラス編成

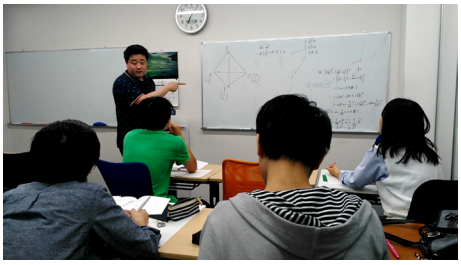
西荻塾のクラス授業は、習熟度別にクラス分けを行っています。入塾時の学力診断、常時の受講状況、模擬試験の成績等により柔軟に編成します。

● 理科・社会は高２開講です。

数学 120 分授業	高１の数学は、いきなり難しく感じることも確かです。スタートダッシュが決まれば、高校の数学は得意になれます。そのためには、授業だけではなく、こつこつと数学の勉強を積むことが必要ですが、実は高１で学ぶどの科目よりも、コスパのいい科目であることも・・・。その秘訣、教えます。学校の成績も、模試も、そして、一度得意になれば点が下がらない、醍醐味を一緒に味わいましょう。	
	標準クラス	高校の数学では、新しい概念がたくさん加わり、さらに、複雑な計算に耐える忍耐力とスピードが要求されます。しかし、「それはできることが増える」ということ。まずは、正確な計算と概念の理解を徹底して行い、その基礎体力を身につけます。そして、参考書・問題集を利用して自分できちんと反復演習をし、しっかり各種試験（定期試験、模擬試験）で点数を出せるよう、学習の仕方についても指導を行います。
	アドバンスクラス	標準クラスで扱う指導に加え、既修分野については積極的に入試問題を利用して深い洞察力を養います。特に、関数、確率、整数については、学校や教科書では取り扱わないが入試で頻出の事項についても掘り下げた説明・演習を行います。 ※予習・復習にそれなりの時間を要します。
国語 120 分授業	高１の授業では、現代文及び古典の授業を適宜配分して実施しています。 ※現代文：古典＝４：６程度です。	
	現代文 50 分	「なぜ人のモノを盗ってはならない」のだろうか。ということに答えられますか？（ある有名国立大学の現代文の入試問題の冒頭の一節です） この問いには、きみたちが必要不可欠と信じて疑わない、「自由」や「ルール」の本質から読み解かなければ答えられません。現代文とは、丁寧に文章の筋道を追いかけることに加え、教養を身につけることが必要です。そして、その力は点数をとるためにも必須。西荻塾の現代文の授業は、点が取れて、さらにマジで面白い。さあ、ともにインテリへの扉を開きましょう。 ※学校の授業では味わえない授業になっています。１年後には、難関大入試問題が解けるレベルを目指します。あ、ついでに言っておくと、現代文の力がないと、英語が伸び悩みます。
	古典 70 分	高１で、どんなにゆっくりやっても、大学入試で必要な古典の知識（文法とか）は終わります。とりわけ、「用言・助動詞の活用を押さえる」ことを主眼に置きます。とにかく、用言と助動詞の活用を体が反応するレベルで覚えきることです。この知識を用いて、古文解釈の鍵となるセンテンスを品詞分解して正確に意味を取るトレーニングを進めます。 フィーリングの古文では限界があります。大学入試で古文を得点源にする土台を作り上げます。

● 塾通信をごらんください。

塾通信を月１回発行しています。塾通信では、各種連絡に加え、学習アドバイスも掲載中。是非、ご覧下さい（学習アドバイスはバックナンバーがあります）。



● 入塾方法

クラス授業、個別授業ともに、まず、無料の体験授業を受講して下さい。体験授業を通じて、担当講師から現在の状況、今後の見通し等詳細なご説明を事後に差し上げます。

＊体験授業の日程等は改めてご相談の上決定いたします。

＊体験授業の結果によってクラス分けを行います。状況によっては個別授業をご提案することもございます。

■ 専門性に裏打ちされた授業

あ、なるほど、と腑に落ちるまで

西荻塾は、受験生が学習の過程で抱く知的好奇心に応えうるだけの専門性と素養を十分に身につけた講師達が待っています。「すっと腑に落ちるその瞬間まで」―いつでも、いつまでも受験生達と語り合う時間を大切にしたいと思います。

微積分やベクトルのふわっとした感じや、なんとなく読む評論文、雰囲気で読んでいた英文解釈・・・是非、教室での専門性に裏打ちされた論理的かつ明快な説明に触れていただき、目から鱗が落ちる瞬間を体験してもらいたいと思います。

解ければいい、では解けないのも事実ですし、受験勉強であっても、知的好奇心に素直になってほしいと考えています。

「わからない！」でも、「もっといいやり方がある！」でも、「この考え方の背景は？」でも、その正直な叫びを徹底して塾という場でぶつけて欲しいと思います。

■ 添削結果を活用した授業

答案に全てが現れる。答案で決まる。

試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。大学入試共通テストでも、記述式が導入されます。

たとえば、いわゆる「自由英作文」を課す大学。難関大とよばれる大学では当たり前となりました。しかし、これを英作文の授業で扱うとして、添削抜きにどう講義をするというのでしょうか。そして、添削結果に目を通さずして、目の前の塾生たちに効果的に授業が出来るのでしょうか。

西荻塾は、効果的な授業を行うために、実際に授業を担当する講師が授業前に直接添削を実施します。添削は、機械的なものとどまらず、記述の方法から、内容の深さに至るまで、入試で求められる記述力を添削によって徹底して鍛えます。さらに、添削後すぐに授業で活用することが前提となっていますので、提出と復習がタイムラグなくして可能です。

指導４本柱

■ 問答授業の活用

ソクラテスメソッドによる揺り動かし

西荻塾は、ソクラテスメソッドを取り入れて授業を実施しています。

ソクラテスメソッドとは、生徒と講師で発問、発話等を頻繁にかわしながら、予め予習してきた内容を踏まえ、解答のプロセスの確認や現場思考能力を鍛えていく手法です。「無知の知」で知られるソクラテスに由来しますが、実際、塾生たちは予習である程度の解答を作ってこれても、意外に問答に窮することはしばしば。その「意外」性に実は、弱点だったり、無理解だったりが隠れていることがある。無知の知とまではいきませんが、こうした知的トレーニング（揺り動かし）こそ、ソクラテスメソッドの最大の利点です。

４本柱の２本、「添削のための答案」を素材に、「専門力」のある講師が、教室を徹底した訓練の場に変えていきます。頭をフル回転しながらも、あっという間の授業時間で鍛え上げていきます。

■ 自習指導との密な連携

自習なくして、結果は伴わず。

西荻塾では、授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか・・・もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちと授業内外でがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。

授業を担当する講師が直接自習にメスを入れることがどれだけ効果的か。西荻塾は創立以来、これをずっと貫いてきました。

自習なくして、結果は伴わず。机について、すぐに実のある学習を自分で行えるようになる。これが目標です。

塾の指導について

■ 常設自習室完備

受講日に関係なく利用できます

西荻塾では、常設の自習スペースを確保しています。受験生や定期試験前を中心に多くの生徒が利用しています。ピリッと張り詰めた空気感のなかで、充実した設備のもと、自習が可能です。

また、講師が授業中でない時間帯は、捕まえて質問や相談は随時可能です。なんでも聞いて欲しいと思います。

※休塾日利用については、セキュリティシステムの運用上、事前手続をお願いしています（高２秋以降）。

■ 自習指導の特徴（授業外）

質問・相談いつでも可能です

西荻塾では、自習指導に力を入れています。クラス授業、個別授業を問わず、すべての受講生は、しっかりとした自習指導を授業外の時間で受けることが可能です。

1．生徒別の自習スタイルの設計

授業以外の時間帯で、お手持ちの学校教材の効果的な利用法、復習リズムの設計、時機に応じて適切な自習用問題集のご紹介や進捗確認などを随時行います。一度決定したものについても、微調整や修正が必要な場合もありますので、定期的に生徒とコミュニケーションを交わしながら進捗のチェックを行っています。

2．自習用教材選定・学校配布教材活用法など

塾で配布しているもの以外に、自習のために入手しておくべき参考書や問題集などについて、適宜ご紹介を行っています。また、学校で配布される副教材や単語帳について、単に一回的な学校の定期試験や小テストに対応するのみならず、それが入試においても活かされる形で取り組むよう指示を行っています。

3．模擬試験や定期試験のフィードバック指導

模擬試験の結果や定期試験の答案などは随時お持ちいただいて、フィードバック指導を行っています。具体的には、答案作成の方法や弱点のあぶり出し、日常の学習方法のチェックや修正、動機付け、志望校の選定などの進路指導まで含め、各生徒別に綿密に指導を行っています。塾で受講している科目以外についてもご相談が可能です。

■ 進路指導・面談

いつでもご相談ください

西荻塾では、生徒・保護者の方の進路相談や面談を積極的に実施しています。

1．生徒別進路面談

西荻塾では、自習指導の一環として生徒と積極的に面談を行っていますが、そのほかに、授業・自習室の様子や、定期試験・模試の様子などから必要があるときは機動的にお声がけをし、面談を実施しています。

日々の学習から志望校の相談、選択科目の選定など、塾で受講している科目以外のご相談にも対応しています。

2．保護者面談・相談（2 者・3 者）

西荻塾では、積極的に保護者の方とコミュニケーションを取らせていただいています。普段のご様子などから、もし気になることがございましたら、メール・お電話・オンライン・対面など適宜の方法によりいつでもご相談ください。日々の学習状況や大学入試制度、学校の三者面談の事前面談、志望校の選定、入試スケジュール調整など様々なご相談に対応しています。

※全学年、定期的に、塾からメールによるご様子のご報告や、ご面談（対面・オンライン選択可）のお知らせをさせていただいております。

西荻塾（にしおぎじゅく）

杉並区西荻南 3-9-11　フロンティア EX ビル 3 階
TEL 03-3334-5415